



クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内



TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和4年2月 第150号

令和3年度 県民まるごとスポーツ推進事業「みんなdeユニスポ」



綺麗に並べられたスキットル



1投目



惜しい!1本残りました



投げる度に



だんだん散らばり



こんなに広がりました

令和4年1月8日(土)、県立倉吉養護学校でサンリンク・スポーツ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスポ※」で「モルック」を開催しました。

※年齢や性別、障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意欲の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

今回は大人13名と子ども3名の参加があり、4グループに分けて総当たりで団体戦を行いました。初心者の方も居られましたがすぐにコツを掴み、とても楽しくプレーされていました。

50点ぴったりで終わるために、40点を過ぎたあたりからチームで作戦を立てて、どのスキットルを狙うか話し合い慎重に投げていました。

小学生のグループはピンポイントで当てるのが上手で、どの試合も50点を先取し見事全勝しました。

運動量が少なそうにみえますが、投げたモルックを取りに行ったり、スキットルを起こすのにかがんだり、結構な運動量もあり、頭も使う競技なので、子どもから高齢の方までが楽しむのにはとても良い競技です。

まだ体験したことがない方は是非体験してみてください。

連絡先
サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

令和3年度 県民まるごとスポーツ推進事業「親子deスポーツ」



ストレッチ



音楽に合わせて歩く



chopstickの曲に合わせて

令和4年1月15日(土)、幸神体育館(境港市)でNPO法人ウルトラスポーツクラブ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:親子deスポーツ※」で「トランポ・ロビックス」を開催しました。

※子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ事業を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【参加者】 子ども15名、大人20名

【指導者】 拝藤みゆきさん、小徳早苗さん、中野佳子さん

【内容】

☆乗り降りの仕方と諸注意

☆ストレッチ

☆歩く→音楽に合わせて手の振りをつけて歩く。(崖の上のポニョ・Permission to Dance)

☆ジャンプ→足を横・前後に開閉、手を上下にさせる。

☆走る→かかとをお尻につけるような感じで。

☆音楽に合わせて動く。(輝きだして走ってく・chopstick・夜に駆ける)

☆クールダウン

【参加者の声】

- ・初めて参加しましたが、とても楽しかったです。また参加したいです。
- ・子どもより僕の方がはまってしまいました。
- ・とても楽しかった。



集合写真

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
金坂 博
TEL:0859-57-5170
E-mail:ultra-cs@sea.chukai.ne.jp

令和3年度 県民まるごとスポーツ推進事業「親子deスポーツ」



足の間をボールを通す



横向きでボールを手渡し



コーンの周りをドリブル

令和4年1月16日(日)、幸神体育館(境港市)でNPO法人ウルトラスポーツクラブ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:親子deスポーツ」で「親子サッカー教室」を開催しました。

※子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ事業を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【参加者】 子ども18名、大人17名

【指導者】 小原洋司さん、山本明日真さん、椿田真也さん、橋本良さん

- 【内容】
- ・親子ペアになり、手でボールのパスや受け渡し、足でお互いの足の間を通す。
 - ・親子で手をつなぎ、コーンの間をフリーでドリブル→決められた色の順にコーンをドリブルで回る。
 - ・手をつないだままの状態でも子どもだけがドリブルでコーンの周りを回る。→親だけがドリブル→交互にドリブル
 - ・1年生と年長、それ以外の子どものグループ(オレンジ・ブルー)に分け、コート両サイドに分かれる。→親子で手をつなぎ、2対2でゴールを狙う。→オレンジ対ブルーの全員でゴールを狙う。→ボールの数を増やしてゴールを狙う。
 - ・オレンジチームの子ども対大人で試合→ブルーチームの子ども対大人で試合(大人は歩くこと)
 - ・オレンジチームとブルーチームの子ども対子どもで試合
 - ・子ども全員対大人全員で試合(大人は歩くこと)

盛りだくさんの内容で子どもも大人もたくさん動きましたが、子どもたちはまだ動き足りない様子でした。(子どもの有り余るエネルギーは凄い！)

【参加者の声】

子どもになるべく多くの競技を体験させて、その中から自分がやりたいと思う競技を見つけてくれたらと思います。子どもと一緒に同じスポーツができて楽しかったです。家だとどんな遊び方をしたらいいかわからないので、こういう機会があると助かります。



手を放さず試合



子どもVS大人



子どもVS子ども

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
金坂 博
TEL:0859-57-5170
E-mail:ultra-cs@sea.chukai.ne.jp

クラブ紹介

スポnetなんぶ*丸谷拓也トークショー



向かって左 松原アナウンサー、右 丸谷さん



現役の頃の試合を解説



ジャンケンゲームで勝利しユニホームゲット

令和4年1月15日(土)、南部町総合福祉センターしあわせで、スポnetなんぶ主催の「丸谷拓也*トークショー」が開催されました。

※丸谷拓也:1989年5月30日生まれ32才、西伯郡南部町出身、法勝寺中学校→境高等学校→サンフレッチェ広島(2008年~2017年)→大分トリニータ(2012年~2013年期限付移籍、2018年~2019年)→スクールコーチ(2020年)→南部町の地域おこし協力隊としてUターン(2021年4月)

プロサッカー選手として活躍された丸谷拓也さんは、昨年4月南部町へ「地域おこし協力隊」として地元に戻って来られ、地域の活性化に尽力されています。

Jリーガーとして12年間活躍してこられたトップアスリートに、小学校2年生から始めたサッカーで“プロサッカー選手になるまで”、そして選手時代の12年間を振り返ってお話いただきました。

南部町出身で山陰放送アナウンサーの松原佑基さんに、トークショーの進行をしていただきとてもスムーズでした。(さすがアナウンサー)

【お話いただいた内容】

高校卒業して“サンフレッチェ広島”に入団したが、高校3年生にケガで手術・リハビリのため、キャンプ入りするが人より出遅れてしまい紅白戦すら出られなかったり、4万人収容できる埼玉スタジアムの試合も14分で途中交代させられたりと悔しい日々を送った。その悔しい思いから、他の人よりたくさん練習し努力を重ねていったことで少しずつ出場機会が増えた。また、青山敏弘選手との出会いが人生を変えた。ワールドカップに出る選手が、偉ぶることなく他の人からアドバイスをもらう姿勢だったり、ポジティブな考え方だったり、ファンを大切にすること、社会人としての振る舞い等多くのことを学んだ。どこかに所属するということは、軽率な行動をすることが自分だけの問題ではなくチームの問題になるので、行動に気をつけることで責任感が生まれた。大切だと思うことは、当たり前のことでも感謝の気持ちを持つこと。自分の経験を地域の子どもたちに伝えていくことや、一緒にプレーをしていくことで、まちづくりに貢献するとともに、スポーツで地域を繋げていきたい。

お話の他に、現役時代の試合のVTRを解説していただきながら振り返り、改めてJリーガーだった人がこんなに近くに居ることを幸せに思いました。

その他、質問コーナーでたくさんの方の質問に丁寧に答えていただきました。

最後に、ジャンケンゲームで勝った人に貴重な現役時代のユニホームとハーフパンツのプレゼントがあり、希望者にはサインと写真撮影会がありました。

ファンにとっては(ファンじゃなかった人はファンに)忘れられないトークショーになりました。

こんな間近にトップアスリートが居る環境は素晴らしいことです。子どもたちの夢にも繋がり、地域にとっても大きな財産です。他のクラブとのコラボもしていけると嬉しいです。



子ども達と集合写真

連絡先
スポnetなんぶ事務局
板 真悟
TEL:0859-66-5400
E-mail: shiawase01@suponetnambu.com

スポnetなんぶ*デザイナー体験講座



デザインを完成させます



デザインが決まったらパソコンで仕上げます



皆の前でコンセプトを発表します

令和4年1月16日(日)、キナルなんぶ(南部町法勝寺)で、「南部町子どもしごと講座2021第3弾企画“デザイナー体験講座”※」が開催されました。(主催:南部町、協力:(株)中海テレビ放送、実施団体:スポnetなんぶ)
※南部町にあるデザイン会社「d-magic(ディーマジック)」から講師の方に来ていただき、Tシャツ作りを通じて、デザインの考え方や、どうやってデザインを作るのか講師の方と一緒に考えてみる。

【講師】吉田 慎吾さん(d-magic代表)、矢倉 麻祐子さん(d-magicグラフィックデザイナー)

【参加者】小学4年生～中学3年生の8名

この講座は、2回開催で、1回目(12月26日)は“誰のために、いつ着てもらうものか”コンセプトを決め、いくつかデザインを考えてみました。

今回(2回目)は、1回目に考えた手書きのデザインの中から1つを選択し、講師の方にパソコンに落とし込んでもらい、文字の種類や大きさ・配置等講師の方と相談しながらデザインを完成させました。

最初はなかなかイメージが浮かばず悩んでいた子どもも、友達に相談したり、講師の方に相談したりして、大作が出来上がりました。

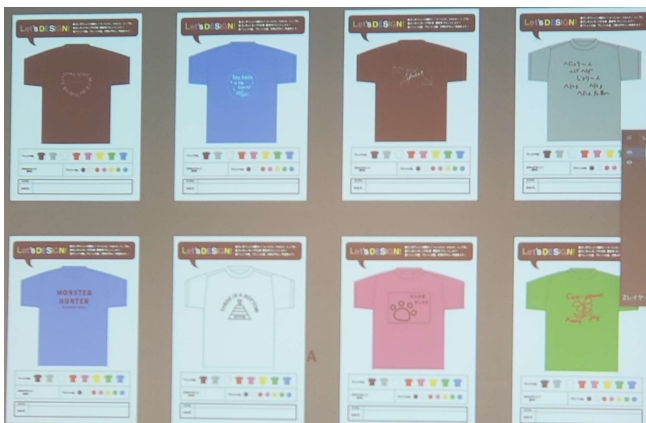
ブランド品として売っていてもおかしくないようなデザインがあり、子どもたちの自由な発想力・才能を感じました。

完成した後は、Tシャツをスクリーンに映し、1人ずつ皆の前でデザインのコンセプトを発表しました。その中で「いつまでも親友で居てください。という思いを込めて5人の名前の頭文字でデザインしました。」や「家族の人のお手伝いをする時に着ます。」など心温まるようなメッセージがありホックリしました。

中にはブラックユーモア的なものもあり個性を感じました。ちなみに「下には下が居る。無理をしてまで上を目指す必要はない。」でした。

Tシャツへのプリントは、今日出来上がったデザインをもとに、d-magicさんの方でプリントしてもらい送っていただくことになっています。

最後にスポnetなんぶの板さん(クラブマネージャー)から、「世界に1つしかないTシャツを作ることができました。貴重な体験をしたと思う。Tシャツが届くのを楽しみにしててください。」と挨拶されました。



みんなの作品です

連絡先
スポnetなんぶ事務局
板 真悟
TEL:0859-66-5400
E-mail: shiawase01@suponetnanbu.com

令和3年度の市民活動表彰



武部夏美さん

谷ロー真さん

乾健吾さん

令和4年1月11日(火)、鳥取市役所本庁舎市民交流棟において、鳥取市が主催する「市民活動表彰」が開催され、令和3年度はNPO法人鹿の助スポーツクラブが表彰され、谷ロー真さん(代表理事)・乾健吾さん(副代表理事)・武部夏美さん(理事)が出席しました。(他、青谷上寺地遺跡クラブ、あけぼの会)

この表彰は、地道かつ立派な活動をされている方々の功績を称えるとともに、多くの市民のみなさんにその活動を知っていただくため、市民活動の推進に顕著な功績のあった団体・個人に送られるものです。

【表彰理由】

1人ひとりが夢中になれるものを持っている地域の実現を目指している団体で、設立以降、主に鹿野地域において様々な教室・イベントを主催・共催されており、まちづくりの推進や活性化に貢献している。また、部活動の地域サポート人材バンクづくり等、市や公民館と連携した活動もすすめている。